

## シリーズ 社会福祉法人の力を地域に

### ～社会福祉法人の地域における公益的な取組を紹介～

社会福祉法が改正され、全ての社会福祉法人は、「地域における公益的な取組」を行うことが責務として規定されました。社会福祉法人の公益性・非営利性など、その本旨に従い、他の事業主体では困難な福祉ニーズへの対応が求められています。

2019年12月掲載

## 「人と人がつながる場所」

社会福祉法人 弘和会

### 取り組みの概要

輪島市と羽咋市で社会福祉事業を運営している社会福祉法人弘和会では「仁・人・和」を基本理念に様々な公益的な取組を実践しています。今回は輪島市で2018年に開所した地域生活支援ウミュ・ドウ ソラと馬場先商店会に開業した駄菓子MAUを紹介します。

### 地域のコミュニティスペースとして

地域生活支援ウミュ・ドウ ソラでは、障害・高齢・訪問看護の機能を備えたよろず相談窓口を切り口に、地域の交流スペースとして開放しています。

ここでは、食事や飲み物を提供するだけでなく、味噌作り・手芸など趣味のサークル活動での利用に使っていただくなど、地域のみなさんに貸出も行っています。

特に、日中独居の高齢者を送迎し昼食を提供したり、夕方保護者が仕事で帰りが遅くなる子どもたちが安心して過ごす場としても利用され喜ばれています。障害者（施設利用者）や高齢者が友達のように上手に声掛けあいながら、気持ちよく同じ空間を過ごしています。この場は福祉避難所の指定を受けており、普段から地域の方に施設内を知ってもらうことで、地域みんなの安心拠点をめざしています。



地域交流スペースのカフェは地域のボランティアさんにお任せ。気の向くまま、好きな場所で好きなことをしながら過ごしています



店内にはお茶などが飲めるくつろげる部屋も。子どもたちのにぎやかな声が響きます

昔取った杵柄でお会計は五つ玉のそろばん

店名MAUの由来は？と思った方、ホームページを検索！

駄菓子MAU（まう）は、市内商店街の空き家を改修し、昔懐かしいお菓子やくじ付き駄菓子などを多数そろえ、子ども達が気軽に立ち寄れる空間になっています。認知症高齢者が店先で店員を務め、子どもや地域の方とおしゃべりを楽しむなど、商店街の活性化にも一躍担っています。

### 地域の暮らしを豊かに

地域の人々がつながる居場所を提供し、どなたでも気軽に利用できる、あたたかな思い出づくりの場を目指しています。

駄菓子MAU（輪島市河井町）  
火・木・土・日・春休み・夏休み・冬休み  
期間オープン  
平日 13:30～17:00  
土日祝日 10:00～17:00

【問い合わせ】（社福）弘和会 地域生活支援ウミュ・ドウ ソラ TEL0768(23)4455

<http://www.swkouwa.com/>

◇◇◇地域における公益的な取組をシリーズで発信していきます。情報をお寄せください。◇◇◇